



荏田南地区社会福祉協議会

ほほえみ

発行：荏田南地区社会福祉協議会

その悩み、独りで抱え込まないで！
生活面全般
 (福) 横浜いのちの電話
045-335-4343(365日 24時間)
学校・教育・子供
いじめ110番：0120-671-388
(365日 24時間)



バスツアー：アクアラインを渡って房総へ



ブルーベリー狩り



バスツアーに参加して
 横濱市都筑区社会福祉協議会
 鮎澤 理子

この度は、シニアバスツアーに写真係として参加させて頂きました。毎年大好評でほぼ満席のバスツアーですが、地区の皆さんが広く参加できるように2ヶ所に集合場所が分かれており、それぞれバスに乗車されます。顔を合わせると早々に楽しそうにお話をされている様子があちこちで見られました。お一人で遠出する機会が減ってきている中、地区社協設立時から開催されているシニアバスツアーは今年度もスタッフを含め93名の参加があり、毎回参加している方から今回初めて来た方まで参加されていました。

東京ドイツ村へ着くと、あらゆる種類のユリが気持ちよく咲いていました。お花を囲みながら互いに近況報告をしている姿や趣味のカメラでお花を撮影していたり、ご夫婦で記念写真を撮ってお子さんに送っている方がいたり、それぞれの楽しみ方があるようでした。

昼食は、お刺身や天ぷらの入った立派な懐石料理をいただき、千葉のお土産を選んで、ブルーベリー狩りへ向かいました。ブルーベリーの品種は10種類以上あり、好みの品種、熟度を探して木を回ります。目に良いと言われるブルーベリーをいただいた後は、視界が開けてより一層みなさんが素敵に見えました。

荏田南への帰り道では、「とてもよかった」「楽しかった」という声があちこちから聞こえてきました。バスを降りてお仲間の手を振り、たくさんのお土産と笑顔で持ち帰られる姿がバスツアーを通して印象的でした。

バスツアーを通して、出会いが広まり、つながりが深まった1日となったのではな



社協だより

事務局長 三宅茂樹

記録的な猛暑やゲリラ豪雨、そして列島に居座り続けた台風が振り回され、南海トラフ地震臨時情報にも身構えた夏も終わりました。

この間七月の「シニアバスツアー」、「集まれ夏キャン」八月は「荏田南小夏休み学習会」、「荏田南夏祭り」そして九月の「荏田南文化祭」など地域活動に社協メンバーも楽しく汗をかきながら取り組みました。

ほっと一息入れて、今度は秋の活動の準備です。

「シニアサロン」
 日時：10月26日(土) 11時～14時
 場所：荏田南中学校 格技場
 演目：地元小・中学生によるダンスや音頭、自主制作の動画上映
 新舞踊「麻華流」の舞台
 参加費無料(昼食付きです)です。お申し込みはお住まいの地区担当の民生委員まで。詳しくは別途お配りしているチラシをごらんください。

「地域で見守り推進事業」
 横濱市が実施する事業として、独居或いは高齢者のみの世帯を担当民生委員が日常のご様子をお伺いいたします。

「そなえちゃん」カード更新
 荏田南連合自治会との協同事業として、10月下旬から11月初旬に、地震などの災害時の安否確認や避難支援を目的とした登録者カードの更新を行います。未加入の方は登録をご検討ください。



夏祭り

葛が谷地域ケアプラザ 生活支援コーディネーターのつぶやきコラム おそうじを活かした「地域支え合い活動」

Part13



汚れはこすらずに、汚れに応じた洗剤で分解させ、材質に合った道具で拭き上げ・吸引するのがポイントだそう。

生活支援コーディネーターの中村です。
 去る8月31日(土)葛が谷地域ケアプラザにて、おそうじのプロを講師としてお招きし「誰でもラクラク・カンタンにできるおそうじ講座」を開催しました。

家庭内の一般的なおそうじの場所に合わせて、使用する洗剤や道具を紹介しながら、その手順とコツを教えていただきました。

地域では、おそうじ等を活かした住民同士の支え合い活動が行われています。葛が谷地域ケアプラザのエリアでは、「ボランティアグループほほえみの会」がちょっとしたお困りごとについてお手伝いをしています。依頼者から活動費をいただいてお手伝いをする有償ボランティアで、現役世代の方も空き時間を活かして活躍中です。

ちょっとボランティア活動についてご興味ございましたら、お気軽に葛が谷地域ケアプラザまでお問い合わせください。

☎ 045-943-5951

<http://www.yokohamamashakyo.jp/kuzugaya/index.html>



編集後記

今年のシニアサロンは10月26日(土)開催です(野)

発行責任者：荏田南地区社会福祉協議会会長 小泉 雅二
 エッセイ、メッセージ、写真、イラスト、広告等募集中です。よろず相談も承ります。
 ◆問い合わせ先：090-3068-1634 (野本) ◆メールアドレス：tnomo@tiara.ocn.ne.jp
 ※エッセイ、メッセージ等は紙上匿名でも大丈夫です。(秘密厳守します！) 広報担当責任者：野本徹夫(3丁目第一)

女の子のための 放課後等デイサービス

小学生～高校生がご利用
 女の子支援
 女の子向けプログラム
 多数ご用意
 スタッフは全員女性

ご見学 体験 受付中

ぶーけ中川
 080-5979-1154
<https://ff-bouquet.com>
 横浜市都筑区中川1-17-22-201



任意成年後見手続き

行政書士 青木総合事務所

登録番号 83090748

〒225-0014 青葉区荏田西五丁目17番地22

TEL 045-912-1724

大盛況だった「夏休み児童学習会」

荇田南地区社会福祉協議会 三宅茂樹



「それって三日間通算で60名ですか？」
「いや、一日当たり60名ほどです」

締め切間近のある朝、筆者と荇田南小学校副校長の会話です。み児童学習会」への参加申し込みは、三日間通算で90名程度。それが今年最終で一日当たり70名前後、通算で200名を超える申し込みとなりました。望外の数字に喜んだものの、それからが大変。教室に児童が収まりきれぬのかボランティアの手配は十分か、そして予算で賄えるかなどなど。初日の8月19日が迫る中、荇田南地区社会福祉協議会を中心としたスタッフの頑張りで準備が整いました。各日数名欠席児童があったものの、三日間通算の参加児童数は181名。対してボランティアは横浜雙葉学園中学から14名、区ボランティアセンター登録の大学生・高校生が12名、荇田南小学校PTAから9名、区社会福祉協議会から5名、葛が谷ケアプラザ1名に荇田南社協の26名を加え計67名。目標の児童3人に1名以上のボランティアを確保することが出来ました。



さて、当日の様子です。前半一時間は各自持参の課題や主催者側が学年別に用意したプリントに取り組みました。人数が多く会場が手狭となり、少しざわつくことも。児童に窮屈な思いをさせてしまいました。来年への課題です。そして後半一時間は「都筑親子科学クラブ」のお二人の指導による日替わり実験・制作コーナーです。今年申し込み数が想定を大幅に超えたのは、これがお目当ての児童が多かったのかも。初日は「真空の世界」、真空ポンプでガラス容器の中の空気を抜き、音が伝わらないこと、おもちゃのドローンが飛ばないこと、風船がパンパンに膨らんでしまうことなど、空気の力をその目で確認しました。二日目は「紫キャベツの色変わり」です。紫色の素の「アントシアニン」に重曹やクエン酸などを入れ、色が変化する様子を、実際に自分たちで確かめました。最終日「液体窒素―超低温の世界」。マイナス200度の液体窒素を使い、花やお菓子の「うまい棒」、プラボールなどがどうなるのか。実際に液体窒素を扱うのは科学クラブのお二人のみですが、それでも児童たちは眼を輝かせて不思議な実験結果に見入っていました。瞬く間に過ぎた三日間。児童たちは参加修了証と記念の鉛筆を手にし、友達と共に学んだ楽しい思い出を胸にして帰って行きました。夏休み最終盤のこの催しが、児童達の次への成長に少しでも役立ってくれたらとても喜ばしいことです。最後に、今回の学習会主催者「荇田南小学校学び場事業運営委員会」の皆様、また荇田南小学校教職員の皆様には企画当初から貴重なご助言・ご助力をいただきましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。



福祉委員を通して気づいたこと

荇田南中学校三年 青木 諒太

昨年、福祉委員として活動しました。その内容は主に二つあります。
一つ目は、シニアサロンです。一昨年の活動ではコロナ禍が完全に収束していなかったため、高齢者の方の体力や身体機能のチェックを荇田南小学校のピロティで簡易的に行なっただけでした。しかし、昨年は荇田南中学校の体育館を使って、吹奏楽部の演奏を楽しんだり、腹話術のゲストを招いたりなど本格的に行われました。シニアサロンにいらっしやっただの高齢者の方々の楽しそうな顔が印象に残っています。
二つ目は、いじめ対策の取り組みです。長い時間をかけて、どうすればいじめをなくせるかを話し合い、最終的には動画を作成することに決まりました。動画制作は三年生を中心に進めていき無事完成しました。
これらの取り組みを通して、学んだことは三つあります。一つ目は、人を楽しめると、楽しませる側も楽しくなるということです。シニアサロンで高齢者の方々が楽しまれていた様子を見てみると自分もとても楽しい気持ちになりました。
二つ目は、いじめ対策は難しいということです。人をからかっていることがそのままエスカレートしていじめになってしまったり、いじめを止めようとした人が逆にいじめられたりすることなど、この活動を通して気づきました。
三つ目は、感謝されると喜びを感じるとのことです。これは当たり前のことかもしれませんが、実際に体験してみると非常に嬉しいことだと実感しました。
これからやっていきたいこととしては、ペットボトルキャップ回収や募金の意識を改善したいと思っています。具体的には前年よりもペットボトルキャップ数が減ってしまったり、募金の合計金額も減っています。ポスターや声掛けなどで意識を高めていきたいです。これからは福祉委員長として全力で頑張っていきたいと思っています。

第五回 老人会・子供会訪問

この場所だからできる子どもたちの体験を支えたい

かしの木台ハイツ子ども会副会長 福原寛子

5年前、夫の転勤でこの地を離れ、この春5年ぶりに戻ってきました。あの頃は寄り道だらけで永遠に着かないのではありませんかとすら思った駅までの道のりを、ぐんぐん歩く子どもたち成長を感じながら、変わらぬ景色と「おかえり！」の声に、ああ帰ってきたなあ、とても温かな気持ちになりました。そんなふうを迎えてくださった方たちと、今年度かしの木台ハイツの子ども会役員をさせていただくことになりました。驚いたのは、以前は50人ほどいた子どもたちが半分ほどになっていくことでした。仕方がないとはいえ、やはり寂しい気持ちは否めません。
子どもの数が減ったからこそ、月に一度くらいは顔を合わせたいよねと、季節のイベントを企画してきました。毎年恒例の筒掘りでは、掘りたてをその場で筒汁にいただきました。夏休み前には、住民の方のご厚意でカブトムシの幼虫を集会所に展示していただき、育った成虫は子どもたちが持つて帰りました。夏休みには、まんまる広場で花火大会も開催し、夏の夜を堪能しました。
「あれがやってみたいな」とつぶやくと、誰かがいいアイデアをくれる。「人手が欲しいから手伝って」とお願いするとたくさんの方が手を挙げてくれる。イベントを企画するたびに、まわりの人の優しさを感じます。
一人では無理でも、みんなだからできる。今しかできない子どもたちの地域での体験と育ちを、これからも応援し続けたいです。



カブトムシの成虫



筒掘り

小規模多機能型居宅介護施設

しょうぶ

都筑区荇田南3-12-14
(荇田高校前下車 徒歩3分)
電話 045-482-7272

デイサービス・訪問介護・泊りが、
同じ施設内でご利用頂けます。
お気軽に見学・相談して下さい。



深澤りつクリニック 医療福祉相談室

☎ 045-914-4101 メール: soudan@ritsurc.com

訪問看護ステーションNOA

☎ 045-914-4003 FAX:045-913-9345

〒224-0003 都筑区中川中央 1-28-19 グリーンエジ202

小規模多機能型居宅介護 Harmony House

☎ 045-530-5070 FAX:045-530-5217

〒224-0033 都筑区茅ヶ崎東 2-12-24

どんなことでもお気軽にご相談ください!



通所介護・個室入浴ができる半日デイサービス
ペルーガヘルスケアサロン

センター南店 電話 045-532-6516

都筑区茅ヶ崎中央 24-12 ライオンズプラザ港北ニュータウン 201
看護師常駐、医療処置対応。理学療法士と柔道整復師による個別リハビリを行っています。

都筑ふれあいの丘店 電話 045-532-4037

都筑区富士見ヶ丘 16-15 シャトーブランビエール 1階
リハビリマシンを使った筋力強化のリハビリと柔道整復師によるマッサージ(可動域訓練)を行っています。
随時見学受付中。介護のこと何でもご相談ください。

担当: 村上・鬼頭



小規模多機能型居宅介護施設

かもいけ

都筑区 荇田南5丁目 18-53

(『荇田南』バス停徒歩1分)

電話:045-942-7961

通い、訪問、泊まりが自由に利用できます。

スタッフ募集中

※介護等について、お気軽にご相談下さい。

